

あおば

No. 91
Winter 2020

特集

● 世界都市農業サミット開催

● 第22回JA東京あおば農業祭開催

● 宮中大嘗祭供納甘藍御收穫祭・宮中供納・

明治神宮・大國魂神社・伊勢神宮奉納

● 東京五輪特集

新年あけまして
おめでとうございます。

J:COMテレビ年賀状CM

大
人
気



きじまりゅうた
あおばの台所



JA東京あおば

<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>



都市農業で世界とつながる 世界都市農業 サミット開催

UAWS
2019

世界都市農業サミット

11月29日(金)～12月1日(日)、世界都市農業サミットが開催されました。

このサミットは、都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、都市農業をさらに発展させていくことを目指して世界都市農業サミット実行委員会と練馬区が開催。都市農業について積極的な取り組みを行っているニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの5都市から農業者、研究者、行政担当者などが招かれました。JA東京あおばも、練馬大根引っこ抜き競技大会等各種イベントで協力しました。

1日目

1日目は海外から来られたサミット参加者と一緒に練馬区内の農業を視察するツアーを実施。高橋さんのブルーベリー農園・畑や、加藤さんの「農業体験農園 緑と農の体験塾」を見学しました。「加藤トマトファーム」では栽培方法などの専門的な質問が多く出ました。

練馬区内の農業を視察



新年あけまして
おめでとうございいます

代表理事組合長 酒井利博

組合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年中はJA東京あおばの各事業ならびに活動に對しましてひとかたならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月に新天皇が即位され、「平成」から「令和」の新时代に入りました。9月は大型で非常に強い台風15号、続けて全国各地で観測史上1位を更新

する降水量を記録した台風19号の影響により、自然災害が相次ぎました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興・復旧を祈念しております。

10月はラグビーW杯で日本代表が8強入り。11月には天皇即位後に初めて行う大嘗祭に当組合の組合員、井之口さんの甘藍(キャベツ)が宮中に供納。また、練馬区と協賛で開催された「世界都市農業サミット」

は、都市農業にさらなる注目が集まりました。

今年度は「未来へ続く都市農業の確立」「自己改革の実践とさらなる健全経営の構築」を旗印に掲げた「第8次中期経営計画」の初年度です。2018年4月より特定生産緑地制度が創設され、同年9月に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行されました。このような農業を守る制度を活用すべく引き続き組合員に周知徹底を図り、JAの事業活動に邁

進してまいります。併せて、都市農業に対し、地域の皆さまにはご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに2020年―令和2年―は56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピック

開催の年。成功を祈念するとともに、組合員ならびに地域の皆さまにとって輝かしい1年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



3日目

3日目には平成つつじ公園で「ねりマルシェ」が開店。会場は野菜を求める多くの来訪者でにぎわいました。JA東京あおばもプライベートブランド商品と女性部のお赤飯を販売しました。

練馬文化センターでは、「みんなde農コンテスト」と国際会議(シンポジウム)を開催。「みんなde農コンテスト」では、昨年のプレイベントで入賞した3団体を取り組みを紹介。大賞には「区立開進第二中学校 農部」が選ばれました。

国際会議(シンポジウム)では、ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの5都市の参加者が発表を行いました。生産者の白石さんも練馬の都市農業について発表。会の終わりには世界都市農業サミットの集大成となる「サミット宣言」が採択されました。

「都市農業はいのちを育む」「都市農業は歴史と文化を育む」「都市農業は公正で開かれた社会を育む」

都市農業の意義や魅力、可能性を世界に発信する重要性が共有され、各都市が相互に連携し、都市農業の今後の発展に貢献することを目指し、サミットは閉会しました。

世界5都市と練馬が「都市農業」でつながったサミット。改めて練馬が誇りに思える3日間でした。

ねりマルシェ



みんなde農コンテスト



シンポジウム



2日目

2日目は第13回練馬大根引っこ抜き競技大会が開催されました。開会式では前川耀男練馬区長が「農業者の皆さま、JA東京あおばの関係者の皆さまと共に練馬の都市農業をさらに発展させていきたい」と話しました。海外5都市の農業者や研究者、行政担当者も練馬大根の引っこ抜きを体験し、立派な大根に感動していました。練馬大根を育てた畑主の吉田さんは「今秋は暖かい気候で立派な大根ができました」と笑顔を浮かべ、酒井利博代表理事組合長は「伝統の江戸東京野菜である練馬大根を世界に発信していただけることに感銘を受けています」と話しました。

午後はCoconeriホールで分科会が開かれ、海外の参加者と練馬の農業者がプレゼンテーションやディスカッションを行い、練馬の農業と海外5都市のつながりを感じました。

世界都市農業サミットの看板



練馬大根引っこ抜き競技大会



分科会



第22回

JA東京あおば 農業祭

開催



11月16日(土)、17日(日)、都立光が丘公園で「く耕そう、大地と地域の未来」をテーマに、第22回JA東京あおば農業祭を開催し、2日間で、8万4千人が来場しました。

農業祭前日、大泉地区の生産者が野菜と花の宝船を制作しました。ネギがきれいに編まれた船の帆、柿の枝を付けるのに「ユニック車(クレーン付きトラック)」を使用！立派な宝船となりました。

今年度の農園芸畜産物品評会では、田中さんが生産した大根が東京都知事賞を受賞しました。

メインステージや地場産農産物の販売も大いに盛り上がり、実りの秋を感謝する2日間になりました。



立派な宝船



農園芸畜産物品評会



ステージでは多様な催しが行われました



トラクター体験



販売ブースも大人気



練馬大根のたち編み



宮中大賞祭供納甘藍と奉耕者井之口さん夫妻



開会



豊穰感謝式典



GODAI君も式典に参加



にぎわった農業祭会場



平成から令和へ

令和
元年度

きゅう ちゅう だい じょう さい きょう のう かん らん お しゅう かく さい

宮中大嘗祭供納甘藍御収穫祭

宮中供納・明治神宮・大國魂神社・伊勢神宮奉納

奉耕者 井之口 喜實夫
井之口 勇喜夫

大嘗祭とは

新しい天皇陛下が即位の礼の後に初めて行う新嘗祭（いなめさい）のこと。一代一度限りの宮中行事です。

11月7日（木）、当組合管内の奉耕者、井之口喜實夫さん・勇喜夫さんの圃場で、宮中大嘗祭供納甘藍御収穫祭が谷原水川神社の松野利行宮司により執り行われました。

7月20日に御播種祭（種を苗床に播種する儀式）、8月20日に御定植祭（育った苗を畑に植える儀式）と続き、キャベツの生育は順調でしたが、9月9日に台風15号が首都圏を直撃。千葉では風速57・5 m/sを記録。強風被害に見舞われました。さらに、10月

12日、台風19号が記録的大雨を降らし、河川決壊や氾濫による浸水・土砂崩れといった今まで経験したことのない水害で甚大な被害が出ました。大きな災害で被災された多くの方々に心を痛め、天皇陛下即位に伴う「祝賀御列の儀」は10月22日の予定でしたが、11月10日に延期する事となりました。

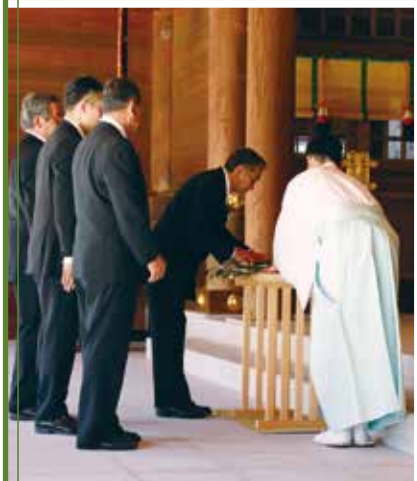
井之口さんの圃場も台風の影響を受けましたが、キャベツは被害を免れ、御収穫祭の儀式を執り行うことができました。

11月12日（火）、蓋付きの竹籠に青々としたキャベツを納め、井之口喜實夫さん夫妻が宮内庁に持参し、庭積の机代物【にわづみのつくえしろもの】（大嘗祭当日に大嘗宮に並べられる全国特産の農林水産物）として供納されました。また、午後には明治神宮・大國魂神社へも奉納されました。

11月14日、皇居・東御苑の大嘗宮にて皇位継承に伴う伝統儀式の大嘗祭の中心儀式「大嘗宮の儀」が始まり、12月3日に三重県の伊勢神宮に奉納されました。

井之口さんは「供物としてふさわしいキャベツを作るために、家族で力を合わせ取り組んできました。JA東京あおばのご支援や皆さんの激励により、目指していた供物を作る事ができました。」と話しました。

立派なキャベツを供納された井之口さんは、当組合の誇りであり、都市農業の素晴らしさを感じることができました。





花きについて熱く語る浅見さん



農林水産大臣賞を受賞した浅見さんの賞状



農林水産大臣賞を受賞したパンジー

浅見さんは5日ごとに菊を10本ずつ育成し、いつ芽を摘めば開会式に花が咲くのかを地道に調べた。結果、8月20日前後に摘むときれいに咲くことが分かり、9000株の菊を育て、そのうち5000鉢を納入した。浅見さんの菊は、天皇陛下が座られる貴賓席や選手村にも飾られた。

栽培の技術も今ほど進んでいない当時、気候により咲き方が大きく影響する為、この依頼に反対する人が圧倒的だった。しかし、「こんな機会はめったにない」と手を挙げた。

1964年東京五輪の聖火台に続く163段の階段や会場を彩った菊。その育成を手掛けた練馬の花井農家の1人、浅見喜代司さん(78)だ。

開会式の2年前、五輪組織委員会から練馬農協(現JA東京あおば)・花卉園芸部会に「10月10日の開会式に合わせて菊の花1万鉢を育成してもらいたい」という依頼があった。五輪という大舞台で植物の菊を開花させて納めるという依頼に挑んだ7人のうちの1人である。

「水やりも大変だったが、ちゃんと開会式に花が咲いてくれるかな安かった。五輪のテレビ放送で聖火ランナーが上っていく中、『黄金の花道』とアナウンサーから紹介された時は目頭が熱くなった」と話す。

現在はブルーベリー観光農園を行っており、「農」に対する情熱は今も続く。



東京五輪の当時の写真を眺める浅見さん



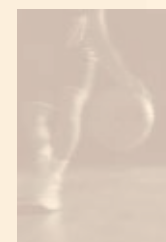
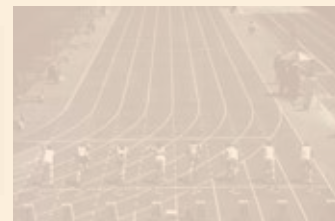
東京五輪特集

1964年東京五輪聖火台の階段を飾る菊は練馬で作られていた！

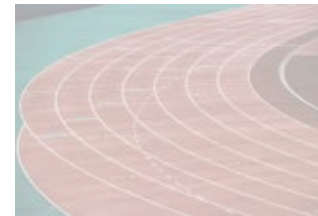
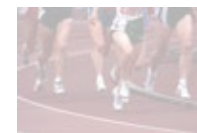
2020年夏、待ちに待った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されている。東京で開催されるのは、実に半世紀ぶりのこと。1964年10月に開催された東京大会の開会式には、会場を鮮やかに彩る多数の「菊」が並べられていた。東京五輪という大舞台に合わせて、美しい菊を納品する——難しい仕事に練馬の農業者有志が挑んでいた。



菊をトラックに積み込む浅見さん(左上)



多くの菊を積むトラック



01 NEWS

令和元年 農業関係各功労章 受章祝賀会開催

12月26日(木)、ホテルカデンツア光が丘で農業関係各功労章受章祝賀会を開催いたしました。
受章者は左記のとおりです。受章された皆さま、おめでとつたります。



03 NEWS

こぐれ村 秋の収穫祭

11月9日(土)、10日(日)、こぐれ村で「秋の収穫祭」を開催しました。季節の花苗、地場産野菜の特価販売や、青壮年部の餅つき・焼きそば・焼き餃子、女性部の赤飯、田舎まんじゅう・玉こんにゃくの販売が

会場を盛り上げました。また、今年は10周年記念として、女性部が作った「すずしろ汁」を無料配布しました。他にも野菜の詰め放題や、JAながの新みやぎやつしろところの特設ブース

などが、収穫祭を盛り上げました。

収穫祭のシンボルである野菜宝船と花は、日曜午後13時頃まで無料配布し、多くのお客様に災害義援金を募りながら配布しました。

02 NEWS

第42回 板橋農業まつり 大地と心を豊かに耕す

11月9日(土)、10日(日)、板橋区赤塚体育館通り周辺で、第42回板橋農業まつりが開催されました。板橋区と協力して行われる一大農業イベントです。
初日のオープニングパレードでは板橋地区



青壮年部が制作した15種類の農産物、重量1.5トンの「野菜宝船」を地元の小学生が引き、通りを練り歩きました。
また、「志村みの早生大根」の販売や、女性部による田舎まんじゅうの販売、植木市、農産物等の品評会が行われ、会場はにぎわいを見せていました。
板橋区は今年度、認定農業者制度を創設。7月に初めての説明会を開催しました。また、2016年度から10年間にわたる「産業振興構想2025」で、産業振興施策として「農業」を位置づけています。当組合も「都市農業を守る」という使命を掲げており、お互い協力し合い「農業」を守ってまいります。

板橋区主催 第42回板橋農業祭り「野菜宝船」
—道路を練り歩く1.5tの宝船—



当組合のSNS動画発信プロジェクトとして、名物「野菜宝船」の制作から宝分け(解体)までをカッコいい動画にしてみました。皆さまぜひご覧になってください!

04 NEWS

東京都北区で 初の農業体験・食育授業

10月9日(水)、北区立王子第五小学校で、校内で育てた稲を刈る農業体験授業を行いました。5年生22人が参加し、鎌の使い方を職員が指導し、初めての鎌に慣れながら稲を収穫しました。

刈り取った稲を教室に持ち込み、食育授業を行いました。小学生からは「お米の品種や原産地」といった専門的な質問が出るなど、熱心に授業を受けていました。

この農業体験・食育授業について同校の永山副校長は「小学生が農作物に触れるいい機会であり、大切にしていきたい」と話しました。東京都北区での農業体験・食育授業は今回が初。今後も引き続き食育に関する活動を続けてまいります。



05 NEWS 豊洲市場前でのイベント「豊ラフェス!!」に参加

10月26日(土)、豊洲市場6街区イベント特設会場で「豊ラフェス!!」が開催されました。このイベントは東京の農林水産の魅力や豊洲で体験できるというものを、会場では農業体験農園を、実際に再現。キャベツ、大根、カリフラワー、チンゲン菜、ネギなどが会場で土に植わっていました。豊洲市場を訪れた外国人観光客も多く来場し、写真を撮っていました。

その横で練馬区農業体験農園主会の園主さんが畑のワークショップを行いました。皆さん熱心に講座を聞いていました。

J A東京あおばは軽トラマルシェで新鮮野菜を販売。また、ねりま de 女子マルシェの皆さんも新鮮野菜を販売しました。東京の臨海地区で野菜を販売するのは初めて。豊洲市場前で都市農業をアピールすることができました。



06 NEWS 西大泉支店で軽トラ市「出張こぐれ村」

10月18日(金)、ファーマーズショップこぐれ村に並ぶ地場産農産物や商品を軽トラに積んで販売する「出張こぐれ村」という新たな販売方法に取り組みました。西大泉支店で月に一度の「貯金感謝デー」に合わせて出張販売を実施。直売所に足を運べないお客様にぜひ。

普段、野菜の無い金融店舗で販売することで、直売所への集客力アップやファンの増加につながるといのが狙いです。こぐれ村は10月よりSNS(Instagram)を新たに立ち上げ、直売所情報を発信しており、販売に意欲的です。今後もこの取り組みを続けてまいります。



07 NEWS 第48回東京都農業祭開催

11月2日(土)、3日(日)渋谷区の明治神宮で第48回東京都農業祭が開催されました。

開会式はJ A東京中央会の須藤正敏会長や小池百合子東京都知事など、多くの方からご挨拶をいただきました。

また、J A東京青壮年部組



原宿を走るデコ軽トラの作り方

ぜひ動画でご覧下さい▶



08 NEWS 中国湖南省の視察団がふれあいの里を視察

10月31日(木)、中国湖南省の農業専門学校の生徒・職員合わせて29人の視察団が、総合園芸センターふれあいの里に来訪しました。この視察団は中国科学技術部の「千人計画」を基に作られた湖南省の農村開発学習

トレーニングコースのメンバーで、農業者食品関連会社勤務の社会人など幅広い年代で構成。農産物直売所を見学し、同組合の農業に関する映像を観賞。視察団のメンバーからは、直売所の運営状況やJ Aの仕組みについて多くの質問が出ました。視察団の訪問は、都市農業を海外に認知してもらえ貴重なきっかけとなりました。



09 NEWS J A東京アグリパークに出店

12月10日(火)〜12月14日(土)、J A東京アグリパーク(南新宿)で「彩(いろどり)農産物フェア」板橋・練馬の街並み」を開催しました。

板橋・練馬の元気なお花や新鮮な農産物、練馬大根ドレッシングなどプライベートルランド商品の販売。また、イートインコーナーでは、大泉学園の中華料理店 Chinese Tapas Hachi(チャイニーズタパスハチ)さんとコラボレーションし、管内産の野菜を使った日替わりランチを提供しました。

J A東京アグリパークは平成29年にオープンし、都内J Aや他団体が食と農に関するイベントを開催しています。





季節の野菜が並ぶ人気の自動販売機



日々農作業の記録を付ける



JA青壮年部でも活躍する吉田さん



住宅街に広がるネギ畑



農の現場

都市農業の未来を探る

92

管内初のGAP認証 安全・安心を消費者へ

練馬区田柄／吉田さん

安

全安心な農産物の生産を通じて、よりよい農業経営を実現するために。練馬区田柄で農業を営む吉田さんは、2019年6月、JA東京あおば管内で初となる日本版農業生産工程管理（JGAP）認証を取得した。食品の安全や環境への配慮、労働者の管理などが第三者機関に適切だと認められることで取得できる、「よい農業」を証明する仕組みだ。

現在34歳の吉田さんは、家の農業を継いで10年目。両親と祖母の家族4人で経営し、JAでは青壮年部員としても活躍する。89アールの畑には、ブロッコリー、ニンジン、キャベツ、ネギなど常時約30品種の農産物を栽培している。

JAの練馬地区アグリセンター、ふれあいの里に出荷するほか、有名百貨店や量販店にも販路を持つ。「人気商品は、『もっと欲しい』と店から出荷を催促されることもあります」と吉田さんは笑顔で浮かべる。自宅にはロッカー型自動販売機も設置。取材中にも採れたての野菜を求め、ひっきりなしに近所の方が訪れていた。

GAP認証の取得に踏み切ったきっかけ

は、野菜の即売に訪れたお客さんから安全な農産物を求める声を聞いたことだ。「自分の野菜を安心して食べてもらえる良い方法はないか」。都やJAに相談したところGAP認証を勧められた。

安全な農産物の整備や農作業道具の衛生管理、マニュアルや記録簿の作成など、取得のためには多くの準備が必要になるが、吉田さんは日々の農作業の後、こつこつと準備を重ねた。

一番変化が感じられたのは、共に働く家族の安全意識だと話す吉田さん。包丁を使ったら洗って元の位置に戻す、農薬を使う際は少量でもマスクをつける…。日常の作業を一つ一つ点検していく中で、家族に連帯感も生まれた。

同時に、作業を整理したり記録したりすることで、「今まで以上に経営がクリアに見えるようになった」（吉田さん）とGAP認証のメリットを感じている。記録を残すことは、次世代に都市農業を継承することにもつながる。

吉田さんは、機械による作業の効率化や農業ボランティアの募集により、さらなる農地の規模拡大を目指す。「販売にGAP認証をどう活かしていくかはまだこれから。皆に喜ばれる付加価値の高い農産物を作って、練馬の農業を盛り上げたい」と、まだまだ意欲は尽きない。

GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) とは

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのことです。

きじまりゅうた あおばの台所



Vol.
8
だいこん



秋・冬が旬の みずみずしい大根

こんにちは！きじまりゅうたです！今回は秋・冬の旬野菜「大根」を使ったレシピをご紹介します。普段煮ることが多い大根ですが、焼いたり、炒めたりしても美味しく楽しめます。

J A 東京あおばの管内で採れる新鮮な大根を使った料理。まさに贅沢！ぜひお試しください！

プロフィール

料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母の料理のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが人気。NHK「きじまりゅうたの小腹がすきました！」「あさイチ」「きょうの料理」など多数メディアに出演中。

1 塩もみ大根と 牛肉の甘辛いため

材料(2人分)

大根	10cm(400g)
牛切り落とし	150g
長ネギ	1/2本
塩	小さじ1
ごま油	大さじ1/2
A	醤油 大さじ1
	砂糖 大さじ1/2
	みりん 大さじ1/2

作り方

- ①大根は皮ごとよく洗って7～8mm幅の半月切りにして袋にいれ、塩を振り混ぜ、空気を抜いて15分ほどおき、水気を押し絞る。
- ②長ネギは4cm長さの斜め切りにし、牛肉はざく切りにする。
- ③フライパンに油をいれて長ネギをいれてざっと炒め、空いたところで牛肉を炒める。
- ④色が変わったらAを加え、汁気が飛んできたら大根をいれて2分ほど炒めて器にもる。



2 大根バターソテー

材料(2人分)

大根	12cm(600g)
カイワレ	1/2P
水	適量
バター	20g
めんつゆ(3倍)	大さじ4
醤油	適量

作り方

- ①大根の皮をむいて2cm幅の輪切りにし、鍋に入れて適量の水を加え火にかける。
- ②煮立ったら弱火にし、蓋をして10分ほど柔らかくなるまで茹でる。
- ③竹串がすっと入ったら取り出し、袋に入れてめんつゆを加え、空気を抜いて口を閉じて冷ます。できれば冷蔵庫で1晩おく。
- ④フライパンにバターの半量をいれて弱めの中火にかけ、汁気をきいた大根を並べて、蓋をして蒸し焼きにする。焼き色がついたら裏返し、更に裏返して3分ほど焼く。
- ⑤器にもって残りのバターと醤油をかけ、カイワレを添える。

手軽に健康 手指体操

孫や子どもと
一緒に遊ぼう

健康生活研究所所長 ● 堤 喜久雄

時代の流れとともに子どもの遊びも変わってきました。お手玉やおはじき、あや取りや折り紙など、昔は手を動かす遊びが多かったのです。手と脳の発達過程から考えても手を動かす遊びが復活してほしいものです。

ご紹介するのは、孫や小さな子どもが喜びそうな形の、ユーモラスなフクロウを作る体操です。良い反応が返ってきたら、手の動きが良い証拠です。喜んでもらえなければ、やり方や見せ方、説明の仕方を工夫することが必要かもしれません。うまくいったら、次は孫や子どもにも教えて一緒にやってみましょう。

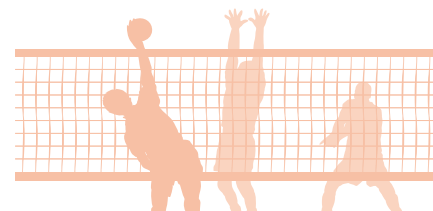
指でフクロウの形を作る



ビーチボールバレー部優勝

JA東京あおばは職員の福利厚生の一環として「クラブ活動」があります。

ビーチボールバレー部は毎年、東京都農林漁業団体健康保険組合の大会に出場しており、2019年11月9日(土)に開催された大会に男女計18人が選手として参加。当組合の男子Aチームが見事優勝いたしました!



平成30年度 第1回 組合員座談会Q&A 進捗報告



平成30年5月～6月に開催された、組合員座談会にてお預かりいただいた、意見・要望の進捗状況の一部をご報告いたします。



JA東京中央会発行のリーフレットを支部回覧して、情報発信しました。



【A】生産緑地に関する相談窓口の設置により、農地を残す(守る)ご提案等ができるよう行政と連携し十分協議してまいります。

Q18 生産緑地から宅地化を避けるためJAの方から組合員に働きかけけるなどもっと発信すべきではないか。
Q19 生産緑地の期間満了後の問題についてどうお考えか。
Q20 生産緑地2020年問題に対する、JA東京あおばの対応についてお聞きしたい。

令和2年度組合員大学を開講します!



準備中

Q72 人づくり人財育成改革の項目で、若手の組合員を対象に組合員教育を実践するとは、具体的にどのようなことをするのか。
【A】組合員大学を設立して次世代組合員の育成を行っている他JAの事例などを参考に、協議してまいります。

東京オリンピック・パラリンピックへの提供条件となる、GAP認証取得を支援しています。

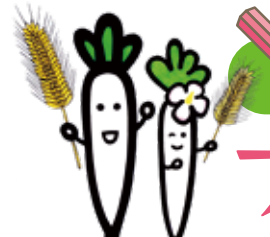


Q126 2020東京オリンピックに農産物の提供等が可能かどうか、情報を提供してほしい。
【A】情報を入手次第、ご提供してまいります。現段階では難しいですが、加工した農産物などの取り扱いも含め検討してまいります。

ホームページもご覧ください HPアドレス <https://www.ja-tokyoaoba.or.jp>

JA東京あおばでは、第8次中期経営計画の進捗報告ならびにJA東京あおばレポートをホームページで開示しています。ぜひ、ご覧ください。





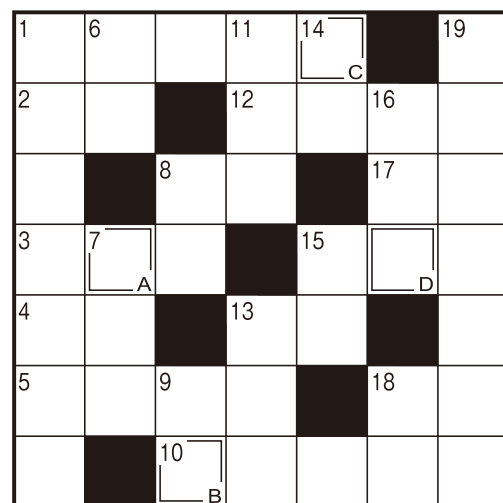
クロスワードパズルに答えて プレゼントを当てよう!

出題：ニコリ

PRESENT 応募締め切り》》2月28日(金)必着

① 二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

☆答えは次号でお知らせします



タテのカギ

- 「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
- 夫の配偶者です
- 生まれたばかりの赤ん坊のこと
- ゆっくりつかって「極楽、極楽～」
- 剣や弓矢、大砲などのこと
- 首の後ろ側の部分
- ____をのんでなりゆきを見守った
- 刑事を意味する俗語
- お酒は飲めない体質です
- こたつに似合う果物
- めの記号で表すことも
- だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

ヨコのカギ

- 元日の寺社が混雑する理由
- 霊峰も銀峰もこれです
- バイオリンやピアノより大きな弦楽器
- 魚偏に里と書く魚
- 破(わ)れ鍋にお似合いです
- ____ニタカミナスビ
- 擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
- 浅草寺の表参道にある____商店街
- 今より前の時点
- てこの____を利用して重い物を動かした
- グーとパーではパーの方
- 英語ではkingと言います

- ✓ 専用応募ハガキにクイズの答えを記入
※郵便ハガキでもOK

ハガキ付属のQRコードより
応募するとプレゼント当選確率UP!

- ✓ 各支店の窓口ポストに投函(無料)
- ✓ 63円切手を貼って郵送



- ✓ プレゼント
野菜と食べるラーメン
(とんこつ・塩・味噌・醤油) 4種類

15
名様



応募あて先 〒179-0075 東京都練馬区高松5-23-27
JA東京あおば 広報誌「あおば」係行

Information

J:COMチャンネルの 新年CM制作に挑戦!



JA東京あおばはコーポレートブランディングの一環として、J:COMチャンネルで放映される新年CMを制作いたしました(表紙QRコード)。これからもメディアミックスに取り組んでまいります。

表紙の写真

内田さんの

ニンジン



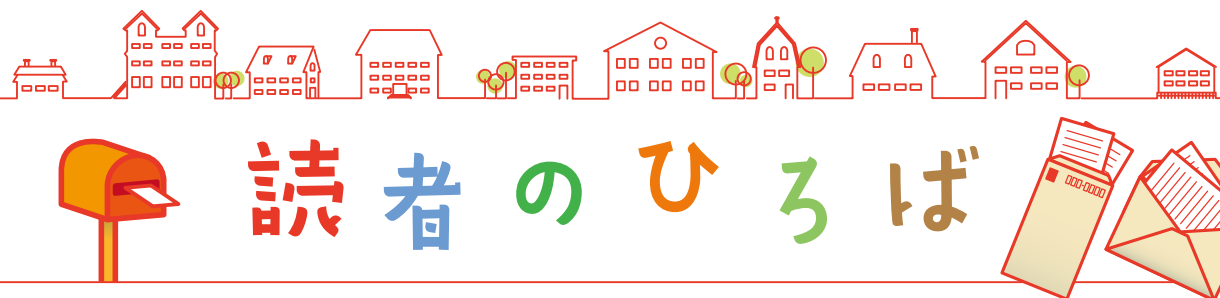
品種は「向陽二号」です。
2019年10月に開催された「ふれあいの里 お客様が選ぶ農産物品評会」にて特賞を受賞!
黄金に輝くきれいなニンジンです!

前号の答え A B C D E
ジ ヤ ガ イ モ



当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

たくさんのご応募ありがとうございました!



緑豊かな練馬で美味しい果物や野菜を楽しんでいます。いつも情報を発信するJAにこれからも期待しています。

from.まるいあさん
〒西大泉支店

光が丘公園の農業祭へ家族で参加しました。子どもたちはアンパンマンショーとトラクターに乗って楽しんでいました。特産物もたくさん出店があって良かったです。

from.さといもさん
〒赤塚支店

広報誌楽しみにしています。とても内容が豊富で読んでいると脳が活発に働くような気がします。指体操毎日やっています。

from.H.Sさん
〒田柄支店

散歩道
キンモクセイの
おいかが

from.トモゾーさん
〒石神井支店

いつでも気持ちよく対応してくれて待たせない気配りが感じられます。ありがとうございます。

from.T.Sさん
〒大泉支店

「感謝の集い」へお招きいただきありがとうございました。初めての参加でしたが、観客の多さにおどろきました。素晴らしい迫力のある歌とトークと美味しい「胡麻美人」をいただいております。ありがとうございました。

from.K.Kさん
〒練馬春日町支店

いつも表紙の写真が素敵です。キタアカリ、美味しいジャガイモですね。最近ジャガイモの種類が多くなりましたね。

from.N.Kさん
〒東大泉支店

新鮮な野菜類は、どこのスーパーよりも信頼して購入。安心して食しています。

from.N.Sさん
〒中村橋支店

マルシェがいろいろな所でやっているのが家の近くで開催している時は行ってみたいと思います。今後も続けていただきたいです。

from.N.Kさん
〒大泉支店

皆さまのお声を励みに、広報誌「あおば」を編集しております。イラスト・絵手紙・俳句なども大募集! 皆さまからのお便りを心よりお待ちしております!

編集後記

新年明けましておめでとうございます。令和最初のお正月、皆さまはどのように過ごされましたでしょうか。今年は子年です。皆さまは世界最大種のネズミ「カビバラ」

をご存知でしょうか。

愛嬌のある姿で人気な動物ですが、特にカビバラの露天風呂は冬の風物詩とも言われ、見ているだけで癒やされます。寒さが本格化したこの時期は、動物にとっても温まりたい季節かもしれませんね。雪景

色を眺めての温泉も冬の楽しみ方のひとつですが、急激な温度変化から起こるヒートショックにはご注意ください。それでは、今年も皆さまにとって素敵な一年でありますように。2020年〇JA東京あおばをよろしく願い致します。(広報委員・比留間)

J:COMチャンネル 練馬人図鑑に 洒井組合長が 出演！



J:COMチャンネルで放送されている練馬で活躍する人たちをインタビューする番組「練馬人図鑑」に洒井組合長が出演いたしました。インタビュアーの小林綾子さんと対談。農業に対する想いや都市農業の魅力を情報発信いたしました！



YouTube
のリンク



J:COM
のリンク



次号発行のお知らせ 次号の広報誌「あおば」No.92は、令和2年4月に発行の予定です。

●本誌のURL・QRコードによる通信料はお客さまのご負担となります。